

光 市 記 者 発 表 資 料

令和7年9月11日

件 名

虹ヶ浜菊の定植について

内 容

1. 目的

地元の地名がついた虹ヶ浜菊は、浅江地区に自生する菊で、秋には3cmほどの可憐な花が沢山咲きます。

光市立浅江小学校に隣接している、潮音寺山(標高62.3m)の整備を、昭和54年から進めてきました。潮音寺山に自生している虹ヶ浜菊が減少傾向にあるため、平成17年から保護活動に取り組んでいます。

第21回となる今年度も、浅江小学校4年生(113名)の総合学習の時間を利用して、さし芽(6月4日)を実施しました。その後、根付いて大きくなりましたので、以下の要領で定植を行います。

2. 日時・場所

令和7年10月2日(木) 11:00～12:00(小雨決行)

浅江小学校 敷地内

3. 方法

直径約15cmの穴をほり、肥料を入れてビニールポット(黒色・直径約10cm)から苗を取り出し定植します。

4. 指導者

浅江地区コミュニティ協議会 常任委員(潮音寺山里山づくり推進部部員他)

5. 虹ヶ浜菊の由来について

昭和7年に、植物分類学者 牧野富太郎博士により、ノジギクとサンインギクの自然交配種であることが論文発表された。

自生しているところの地名 虹ヶ浜をつけて、虹ヶ浜菊と命名。

浅江小学校の校章、校旗、帽子等にデザインされ校歌にも歌われているように、浅江の宝として親しまれてきました。

また令和6年、「虹ヶ浜菊」として光市文化財に指定された。

6. 主催

浅江地区コミュニティ協議会(担当:潮音寺山里山づくり推進部)

問 合 せ

浅江コミュニティセンター(事務局) 電話 0833-72-1438

担 当 者 潮音寺山里山づくり推進部部長 山 本

浅江コミュニティセンター 岡 本